



Innovation for the Rotary club ロータリーに新風を 2012年4月のロータリーレポートは 1ドル=82円

ガバナーからの手紙 「ゆとり教育(その3)～心のゆとり～」 炭谷亮一



近年、毎年のように3万人の人が自殺している。おそらく経済的理由によるものが大半で、私みたいに「愛のために死にたい」など稀有であろう。自殺者の殆どは精神的な余裕を持ち合わせていないためと思う。これこそゆとり教育、すなわち「心のゆとり」を教育しない結果である。教育の欠如の最たるものである。

昔からよく言われることであるが、「死中に活を見出す方法」、「蛸集する、つまりむらがり寄せる不幸の中で、泰然として前向きに対する心構え」これらを見に滲むように体得させることこそ、真の「心のゆとり」教育である。

受験教育、点取り主義の自動販売機的教育からは、どうしても個人の危機管理教育は出てこない。個人の危機管理を考えると肝心の要は、考えられる最悪の場合について覚悟し、「死中に活を見出す」方法を、実例を挙げて教育すべきであろう。

さて、今日我々は資本主義の真っ只中で生きていることを認識させるべきである。資本主義の論理とは市場原理である。市場原理とは淘汰の法則である。労働者（経営者を含む）は淘汰されて失業者となる。市場原理が作動せず、破産と失業がなければ資本主義は死ぬ。

資本主義における覚悟は、破産と失業である。ゆえに、資本主義における教育の根本とは、失敗をどう受け止めるかの教育でなければならない。破産と失業とにどう対処すべきかの教育でなければならない。それが無いというのは、これは、どうしようもない欠如教育である。とても、教育と呼べた代物ではない。資本主義教育の事始めは、破産と失業とは、これ日常茶飯事のことでであると教えなければならない。破産しそうだと、びくびくするなかれ。どの企業だって破産しそうなのである。今は偉大である企業だって、いくたびも破産しそうになった。破産もした。それをどう乗り切ったか。破産した人がどう再起したか。これを学ぶことこそ実に、資本主義教育の要諦（肝心の点）である。そのエッセンスは、幼時から学んで、無意識の底に、しっかりしたコムプレクスを作り上げておく必要がある。これらの教育が現代日本に全く欠けていることが最大の問題である。個々人に「心のゆとり」教育をしっかり行えば、確実に自殺者は減少する。

クラブ例会予定 2011-2012年度	
5/17	江守道子会員(金沢パイロットクラブ)
5/24	高木真理子様(子ども夢フォーラム代表)
5/31	辰巳クミ会員(共和化学興業(株)代表取締役)
6/7	岡田昌美様(光和防災)「笑顔が見たくて」
6/14	飯山暁朗様
6/21	バンドネオン 演奏
6/23(土)	今年度会長幹事慰労会
6/28	23の振り替えて 休会

2011～2012

(役員) 会長：西村邦雄 エト：北山吉明 副会長：野城 勲 幹事：魏 賢任 副幹事：宮永満祐美

前会長 藤間勘菊 会計：竹田敬一郎 SAA：若狭 豊

(理事) クラブ管理運営委員長：村田祐一 副：上杉輝子(親睦：上杉輝子 プログラム：杵屋喜三以満

SAA：若狭豊 ニコニコ：土田初子 友好・クラブ細則：藤間勘菊 奉仕プロジェクト委員長：多田利明

副：後出博敏(職業：申 東奎 社会：若狭豊 国際：藤間勘菊 ラオスITセンタープロジェクト：炭谷亮一)

会員組織委員長：金沂秀 副：相良光貞 (会員増強修練：二木秀樹)

ロータリー財団委員長：木場紀子 副：江守道子(ロータリー財団・米山：吉田昭生 年次寄付：西村邦雄)

広報委員会委員長：永原源八郎 副：谷伊津子(広報：東海林也令子 ロータリー情報：大沼俊昭

会報：石丸幹夫) 常任理事：石丸幹夫

★太字：理事役員

長期姉妹クラブ担当 南光州：金 石丸 岩倉 江守巧 村田 東京世田谷中央：炭谷 岩倉 石丸 木村幸生 藤間

京都北東：炭谷 杵屋 水野 高崎：石丸 村田 藤間 宮永

例会場 ホテル日航金沢 5F 〒920-0853 金沢市本町 2-15-1 T076-234-11111 例会日時 木曜日 19:00

事務室 ライブ1ビル 2F 〒920-0852 金沢市此花町 3-2 T262-2211 F262-2241 (事務局) 阿原美和

E-mail khrc@quartz.ocn.ne.jp

ホームページ URL http://www17.ocn.ne.jp/~hrc/

事務局執務時間 月火水金 9:00～15:00 木 9:00～12:00、17:30～20:00 休憩時間 12:00～13:00

休日(土日祝日)

魏幹事 09037629170 宮永副幹事 09020331766



例会便り

653回

ホテル日航3F

2012 5.31 (木) 19:00

出席率 20/36 55.56%

3月修正出席率 68.06%

点 鐘

ソング

『ROTARY』

四つのテスト

会長挨拶

今日は、気温も上がり、明日から衣替えという時節になりました。暑がりの私にとって、扇子が離せない季節到来です。

さて、今日は、辰巳クミ会員の卓話で



す。包装関係の話というテーマです。どんなお話が聞けるか楽しみにしています。

ゲストのご紹介

ビジターの紹介

《 食 事 》



幹事・委員会報告

宮永 満祐美クラブ国際奉仕委員長：韓国南光州 RC との青少年交換について

青少年交換を例年させていただいておりますが今年は当方でお引き受けする番です。私どもの金会員が調整してくれていますが 7/25 から 7/30 で 4名 というところで進んでいると聞いております。朴先生にもご報告をいたします。もし何かありましたら 宮永まで ご返信くださいませ。

ニコニコBOX

¥11,000- 本年度 ¥638,500- 残高 ¥4,049,190-



西村会長：辰巳クミ会員、卓話よろしくお願ひします。 岩倉会員：今年に入り公私共に忙しく例会に出席できませんでした。新年度より皆出席を目指します。辰巳様の卓話宜しくお願ひします。 金会員：皆様こんばんは。早退の金です。辰巳さんの卓話楽しみにしていましたのに残念です。 炭谷ガバナー：辰巳さん今夜の卓話楽しみにしています。 藤間会員：辰巳さんよろしく。お話楽しみにしています。 水野会員：辰巳様のお話楽しみにしています。 宮永会員：①辰巳さん今日はよろしくお願ひします。②フェイスブックで元会員の大平ドクターと友達になりました。お元気そうです。③相川さん元気ががんばっていました。

講話の時間

「 会 社 紹 介 」 辰 巳 ク ミ 様 共和化学興業(株) 代表取締役



まず最初に会社の成り立ちについて

私が、平成21年に2代目社長を就任した共和化学興業という会社は

昭和37年11月に創業した、今年50年を迎える会社です。

社業は、包装資材の提案販売です。

包装資材というものは、中々理解して頂きにくい黒子の存在ですが、実は生活には不可欠な存在です。

たとえば、鮮度保持フィルムというのがあります、それは生鮮野菜を包むことによって、保存料を使わずに、野菜の寿命を延ばします。

また、ガスバリアフィルムは、脱酸素剤と一緒に使うことによって、やはり食品の寿命を延ばします。

上記のように、決して主役になることはありませんが、主役である食品をよりよく、またデザインによって

引き立てる役割をもったものです。

そして、その2代目を引き継いだ、ひよこ社長の七転八倒のお話です。

ずっと経理畑で、一度も営業経験のないまま、一匹狼の集まりのような営業を一つにまとめようと

投げ出したり、勇気を奮い起こしたり、落ち込んだり、胸を膨らましたりしながら、試行錯誤の毎日です。

結果の出てない3年で、ただ確信できたことは、思い込みは激しいし、頑固だけど、自分自身に正直にやってきたこと。

人に公平であること。 まだ、千里の中の一步だけど、もう少し頑張るぞ！

というまとまらない話を、クラブの皆様に質問でカバーして頂きながら、何とか30分を乗り越えることが出来ました。

本当に皆様の暖かいフォローに心から感謝申し上げます。 有難うございました。

点 鐘

5～6月金沢市内8 RC 例会変更予定

金 沢RC 6/13 (水) 休 会

金沢東RC 6/18 (月) 休 会

金沢西RC 6/29(金) 最終夜間例会 18:00～ 金沢都ホテル
金沢南RC 6/19(火) 最終夜間例会 18:30～ ホテル日航金沢 6/26(火) 休会
金沢北RC 6/14(木) 休会 6/28(木) 最終夜間例会 18:30～ 松魚亭
香林坊RC 6/18(月) ヤレヤレ会 18:30～ 未定
みなとRC
百万石RC 6/28(木) → 6/23(土) 最終例会 19:00～ 湯涌温泉に変更

会員増強に関する三つの嘘

RI 2591 地区パストガバナー 上野 孝

今年度の私どもの地区における最大の目標の一つは、言うまでもなく会員増強である。

今年度も残り少なくなってきたが、もう一度各クラブにおいて会員増強に焦点を当てていただきたいと思い、3月を「地区会貞増強特別月間」とさせて頂いた。

そこで、会員増強に関してよく言われている「嘘」について皆さんと共に考えてみたい。

1) 「会員増強はクラブの質の低下を招く」の嘘 会員増強がクラブの質の低下を招く、なぜ会員増強なんかに血道を上げるのだ。古き良きロータリーはどこへ行ってしまったのだ？というご意見をよく伺う。私は、これはある先輩が言われているように「ロータリアンはロータリアンでない人よりも質が上である。」という差別意識に根ざしているのではないと思う。確かに「ロータリアンがそうでない人よりも上質である。」という事であれば、新会員が増えれば増えるほどクラブの質は低下していくであろう。しかし辛か不幸かロータリアンでない人でも、ロータリアンより上質だと思われる人はこの世にいくらでも存在する。したがって、会員増強がクラブの質の低下をもたらすなどとは、うっかりでも言わない方が良いように思える。

「会員増強はクラブの質の低下をもたらす。」という誤解は「質」とは何かという定義の問題もありそうである。「質」という事が、即ち財産があるとか、社会的地位が高いとか、その人の属性について言われるならば、確かにそれぞれの地域においてそのような人の数は限られているであろうし、新会貞を増やす事によって、そのような意味での質の低下は否めないであろう。しかしロータリーにとっての会貞の質とはそのようなものでないことは明白である。ロータリーの理想に賛同し、情熱を持って奉仕活動に当たってくれる人こそが質の高い会員であり、それ以外の定義はありえるはずがない。そのような人は、どんな地域においても無限に存在していると言っても決して過言ではないのである。

2) 「会員増強よりも退会防止」の嘘

私達の地区においては、今年度においても12月末で新会貞の入会が136人であるのに対して退会者は102人にも上って・いる。この数字を見ると確かに誰しもが、「もし退会者がなかったら」という事を考えるであろう。退会を申し出た会員をクラブに残ってもらうよう翻意させる努力を惜しんではならない事は言うまでもない。しかし、退会者の個々の事情を考えてみると、昨今の厳しい経済情勢や諸事情の下で、そのような説得が成功するケースは実際問題として稀であると言わざるを得ない。したがって、退会防止にばかり力を入れ会員増強の努力を怠る事は、長い目で見た場合、クラブにとってマイナスの方が大きいのではないだろうか。

私は退会防止の最高の良薬は会員増強にあるのではないかと思う。会員増強によって新しい会員が増えてきているクラブは、例会も奉仕活動も活性化し、クラブ全体も活性化し、やめたいと考えていた会員もクラブの新しい魅力に気づいてくれるようになるのである。古人曰く、攻撃こそ最大の防御なれ、と。

3) 「会員増強に王道はない」の嘘

会員増強にこれといって決め手はない、必ずうまくいく方法などは存在しないという意見をよく聞く。それぞれのクラブの事情が違いうように、効果的な会員増強の方法もクラブによって違うというのが、大方の意見であるように思う。しかしこのような厳しい環境の中で会員増強に成功しているいくつかのクラブの会貞増強についての方法を伺ってみると、そこにいくつかの共通点があるように思われる。

第一に「クラブ全体の意思として会員増強を第一目標としている。」

第二に「増強目標人数の5～10倍の数の候補者名簿を作成している。」という事である。

第一の点については言うまでもない事であるが、会長の会員増強への情熱が会員の皆に理解され、**全員が会貞増強目標を共有しているという事**である。例えば10周年を期して50人クラブにしよう、30周年を期して100人クラブにしようというようにクラブの意識が一つにまとまった時、会員増強運動は大きな効果をあげる事が出来る。

第二の点であるが、会員候補者名簿を具体的に作るという事は大変重要な事である。会員候補者名簿を作成することは、会員増強を始めるにあたって最も大切なステップであるはずであるが、多くのクラブはこのリストを作成していない。体系的に、統一的に会員増強を進めていくための第一歩として、何よりもまず会員候補者名簿の作成をお願いしたい。それも、目標とする新会貞の数の5～10倍のリストを作っていただきたい。そのj1だけのリストを作るのはクラブの会員全員の協力なくしては出来ない事である。リストを作る事によって、クラブの全員が会貞増強がいかに重要かについての意識を共有する事が出来る。会員増強のターゲットは、単に今年だけの目標ではなく、2005年のロータリー100周年に至るまでに150万人の会員にまで増強しようという継続的なターゲットである。候補者リストを作成する事は、会員増強への取り組みが次年度へと円滑にバトンタッチされるためにも不可欠である。私達の地区として初めての「地区会貞増強特別月間」にあたり、会員の皆様お一人お一人のご協力を切にお願いして。

ロータリー文庫から



Latemar 山 2842 m



カレル湖と Latemar 山



Lagazuol 山 (2803 m) 2733 m地点で



ベニスのゴンドラ

5/26 (土) ~ 6/3 (月) 旅行をしました。ドロミテには日本の剣岳よりすごくて高い山が沢山あって驚きでした。



イタリアの地震は大変だった様で現地のテレビでは盛んに報道していました。しかし私達のコースは北イタリアでしたが全く地震は感じませんでした。

☆お願い 会員消息に記事をお願いします。